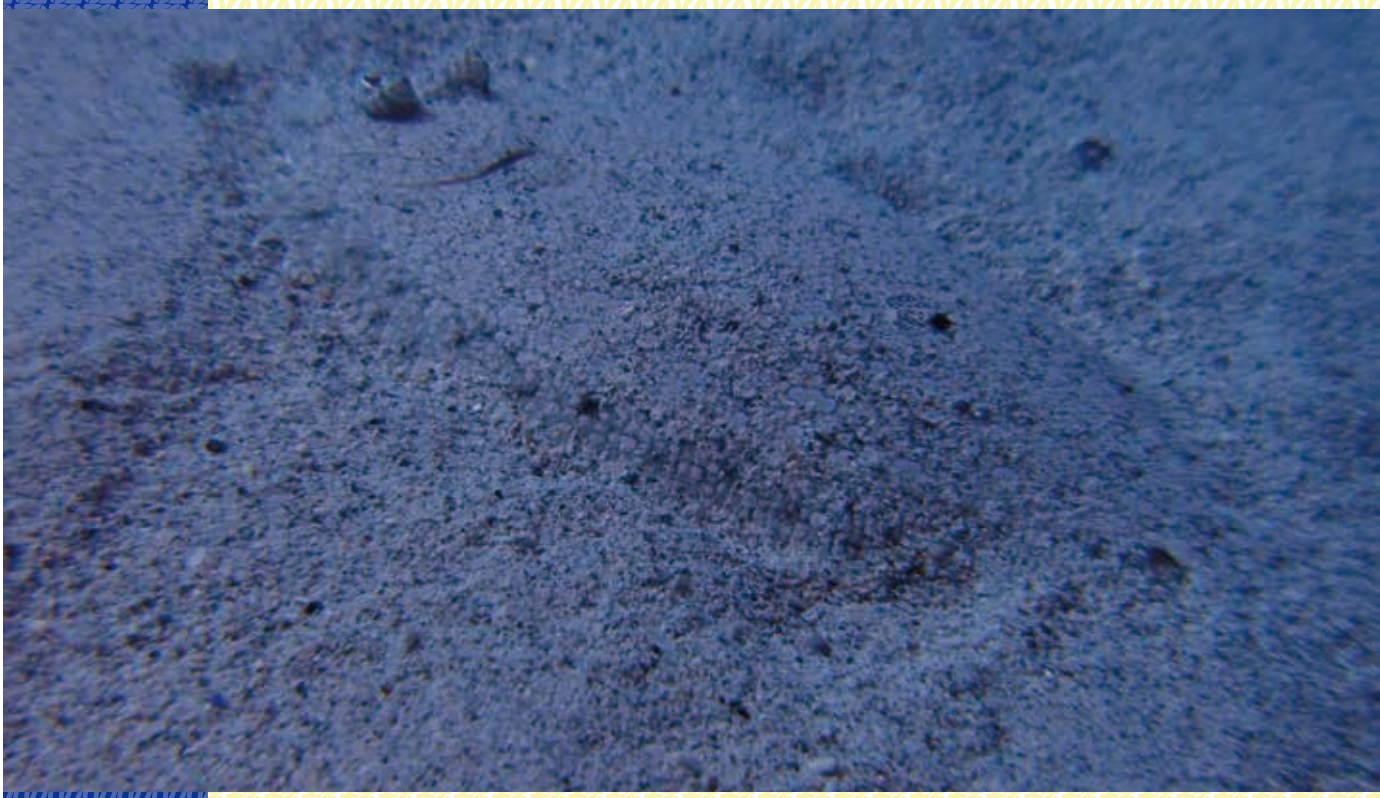
とうきょう さんぱい

第33巻第5号　通巻第312号
312
平成28年8月10日発行

就任のご挨拶

東京都産業廃棄物協会　専務理事　　木 村 尊 彦

平成28年度第1回　新入会員と協会役員との懇談会
中間処理委員会　施設見学会 ―杉田建材㈱―
女性部だより　部内勉強会『だれもが働きやすい職場環境づくり』
ベルマーク回収・支援活動　ご協力ありがとうございました



一般社団法人 東京都産業廃棄物協会

有明興業は、未来のエネルギーを創造します。

Recycle Quality
リサイクルを考える時代から、
リサイクルの品質を問う未来へ。

廃棄物から地球にやさしい燃料をつくっています。
これらは今、次世代エネルギーとして、製造工場や発電施設などで活用されています。

オフィス・工場 ⇒ プラスチック・紙・繊維・木・金属

〈サーマルリサイクル〉RPF(固形燃料)・プラ燃料 → 各種企業、発電会社など
●CO₂発生を抑えて、地球温暖化を抑制します。
●石油や石炭の代替燃料となり、エネルギー資源の有効活用につながります。

〈マテリアルリサイクル〉再資源化 → 各種メーカー
●限りある資源の有効活用につながります。

輸送に比べてCO₂排出量の少ない船舶輸送を推し進めています。
東京港に面する若洲工場とリサイクルポートでは、2,000トン級の船舶が接岸できるプライベートバースを活用し、全国各地から廃棄物を受け入れ、製品出荷体制を整えています。

2014年度 中間処理業 収集運搬業（積替え保管を含む）
産廃エキスパート
認定番号 3-14-C0012
認定番号 3-14-B0076

優良認定業者
あかあけこうぎょう
http://www.ak-net.co.jp/

有明興業株式会社
ARIAKE KOUGYO CO.,LTD.
〒136-0083 東京都江東区亀戸2-8-25 TEL.03-3622-1911 FAX.03-3622-1919

環境負荷を低減し、よりクリーンな社会へ

砕石船積み風景

女子美術大学作画
当社砕石置場

わたしたちのとりくみ

資源を**再生する** / 省エネを**実行する** / **省燃費で**運転する / 会社周辺の環境を**整備する** / **グリーン購入を**心がける
etc

事業内容

●産業廃棄物処分業（コンクリート塊 破砕 2,040t/日）
●産業廃棄物収集運搬業（保管積替えを含む）
保管積替（汚泥、燃え殻、鉱さい）
積替（上記外に廃油、廃プラ、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、ばいじん、がれき類）
～陸上運搬はもちろん海上運搬も～
●汚染土壌の陸上海上輸送　●再生砕石、再生砂販売

日栄産業株式会社
～リサイクルポートの活用で資源の再生利用を促進～
〒143-0003 東京都大田区京浜島3丁目5番2号
TEL03-3790-7400 http://nichiei-sangyo.jp
ISO14001:2004取得
中間処理業 3-14-B0022
収集運搬業 3-14-C0027

CONTENTS

就任のご挨拶
専務理事に就任して
東京都産業廃棄物協会　専務理事　木 村 尊 彦 ・・・・・・・・・・ 2

平成 28 年度第 1 回
新入会員と協会役員との懇談会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

中間処理委員会・施設見学会
杉田建材㈱の低濃度 PCB 廃棄物の無害化処理に係る取り組み ・・・・ 6

女性部だより
部内勉強会『だれもが働きやすい職場環境づくり』 ・・・・・・・・・・・・ 8

「ベルマーク回収による東日本大震災被災校への支援活動」にご協力ありがとうございました ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

委員会報告　（青年部、法制度検討委員会） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
リサイクル情報　㈱三凌商事「かながわリサイクル認定製品　サンリョウ有機」 ・・・・・ 13
お魚を探せ!表紙写真クイズ　正解と解説 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
応募要領 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
身近なヒヤリ・ハット事例 Part 100 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
『身近なヒヤリ・ハット事例』掲載100回に寄せて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
講師余談・古代史散歩　稲荷山古墳・ヲワケ臣の謎 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
よろず相談　税務・相続で取得した父の居住用財産の譲渡所得の特別控除について ・・・ 20
協会の主な今後の日程 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
事務局だより・編集後記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
暑中見舞・各社名刺広告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

題字 : 東京都産業廃棄物協会　会長　高橋 俊美

専務理事に就任して

東京都産業廃棄物協会　専務理事

木　村　尊　彦

去る７月１日に、専務理事のポストに就任いたしました。誌上をお借りしまして一言ご挨拶を申し上げます。

私は 1979 年に東京都公害局（のちの環境保全局）に採用になり、その後清掃局に移り、2000 年の清掃事業の 23 区移管に伴い両局が一つとなった環境局を 60 歳を目前にした６月末で退職いたしました。私は 37 年間、希望通り環境行政一筋で過ごすことができました。特に、産業廃棄物対策には、係員、主任、係長、課長、部長のすべてで携わりました。厚生省での係長時代には、特別管理廃棄物制度や収集運搬業と処分業の許可を別にする制度を設けた 1991 年の廃棄物処理法改正のため、年 8760 時間の約４割を霞が関で過ごしました。課長時代には、江戸川区内の産廃の山を、産廃協会の皆さんの協力を得て、ヘリによるマスコミ取材を受ける中で完全撤去を行い、地域の環境改善に寄与することができました。部長時代には、天皇陛下のスーパーエコタウン施設の視察があり、天皇陛下からはアスベスト対策にどう取り組んでいるのかという質問を環境局長や社長さん方が受けていました。2011 年に起きた東日本大震災では、岩手県と宮城県内の災害がれきを処理するため、多くの産廃業者の皆さんからアイデアや協力の意向をいただき、安全かつ迅速に処理を行うことができました。ここに改めて感謝を申し上げます。

さて、産業廃棄物の処理は、適正処理に止まらず、資源循環への取組を大きく展開し、温暖化防止など地球規模での環境問題も率先して解決し、持続的発展につなげていくという大きな役割を担っています。本年策定された「東京都資源循環・廃棄物処理計画」や、国で検討が進んでいる廃棄物処理法の改正への対応が喫緊の課題であります。また、2020 年東京オリンピック・パラリンピックでは先端の環境技術の紹介や資源循環施策の展開も求められます。

当協会では、公益的事業として、調査研究・研修・相談指導事業、災害廃棄物対策事業や環境活動を精力的に行うとともに、普及事業として、マニフェスト普及事業や機関誌の発行、会員交流事業等をパワーアップして進めてまいります。専務理事として、会長、理事、会員の皆さんと意思疎通を密にし、また、各委員会や各部会の活動が円滑に行われますようこれまでの経験や知識を活かして全力を尽くしてまいります。会員各位及び行政をはじめとする関係者の皆様のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げまして、就任の挨拶とさせていただきます。

平成２８年度第１回

新入会員と協会役員との懇談会

平成 28 年７月 26 日㈫ 11 時より協会会議室において、新入会員と協会役員との懇談会を開催した。今回は平成 27 年 10 月から 28 年３月までの 27 年度下期に入会した５社を対象として開いたもので、このうち正会員１社、賛助会員３社が出席した。高橋会長の挨拶に続き、出席者自己紹介、木村専務理事による協会事業説明の後、活発な意見交換が行われた。

（取材　塩沢美樹）

前列左から市川氏、岡本氏、高橋会長、水谷氏、田部氏、木村専務理事
後列左から加藤副会長、大橋氏、伊藤常任理事、松村氏、乙顔副会長、上田氏、都築常任理事、碩常任理事、鈴木副会長、五十嵐常任理事

今回の参加企業は、愛知県を中心に運送業・倉庫業・産業廃棄物処理業などを幅広く手掛ける中部第一輸送㈱、損害保険大手の東京海上日動火災保険㈱、廃棄物処理・リサイクルに関するコンサルティング業を全国展開するエコスタッフ・ジャパン㈱、人材サービス業大手のアデコ㈱の４社である。

中部第一輸送㈱の事業の特色のひとつは、全国でわずか４社のみという、遊技機リサイクルの広域認定を受けた業者であることだ。パチンコ店やメーカーから遊技機（パチンコ台等）を回収し、99.5% をリサイクルしているそうだ。手作業による解体処理を行い、液晶などの有価物、プラスチック、鉄・非鉄、木材、

ガラスなど約 40 もの素材に分別し、さらに細かい仕分けにより、マテリアル価値を向上させている。有価での取引が主体だが、産業廃棄物の収集運搬業および中間処理業（破砕・圧縮）の許可も取得し、適正に回収・処理を行うことで遊技機の不正流出防止に貢献をと考えている。また、障がい者・高齢者の雇用にも積極的に取り組んでいるそうだ。

当協会の会員企業との交流を深め、東京の産廃業界の現状等について情報収集しながら、今後の事業展開に活かしたいとのことだ。

東京海上日動火災保険㈱は、当協会と協力して、会員専用の「破砕機専用機械保険」を開発し、平成27年9月に発売した。すでにこの保険を利用し補償を受けた企業もあるそうだ。近年、廃棄物の中に異物・危険物が混入することによる処理施設の深刻な事故が発生している状況を踏まえ、当協会では、排出事業者向けのリーフレットを作成・配布するなど、対策を講じてきた。この保険は、正会員企業が所有・使用・管理する破砕機が、異物混入により破損した場合の修繕・部品取替費用を、排出事業者の委託基準違反の責に関わらず、補償する損害保険となっている。

同社は今後、広報活動等を通じて加入者を増やしていきたい考えだ。さらに、労働災害が発生した際に、政府の労災保険でカバーできない部分を補償する保険の開発についても言及され、産廃業界や当協会が、労災のリスクに対してどのような考えを持っているのか情報収集するとともに、当協会が主催する講習会等において、保険に関する情報提供をしたいといった提案がなされていた。

エコスタッフ・ジャパン㈱は、独自の認定基準により、全国の優良な処理業者のネットワークを構築し、廃棄物の全国一元管理の提案等を行っている。また、全国統一の職種別作業マニュアルと定期的な教育研修により、認定企業の標準化とサービス品質の維持・向上に努めている。

同社は創立 10 周年を迎え、組織強化のために社員のレベルアップが必要な時期であることから、当協会の講習会や委員会・部の活動に参加したいと考えている。さらに、「現場を知らないコンサルティング業」からの脱却を目指し、会員企業の施設を訪問・見学するなど、積極的なコミュニケーションを図っていきたいと話していた。

アデコ㈱は、平成 27 年度に当協会が企画提案し、採択された東京都「産業廃棄物処理業界における処遇改善事業」の受託事業者として、計 16 の事業を実施し、会員企業から 1,100 名を超える参加があった。平成 28 年度も、東京都産業労働局（公益財団法人東京しごと財団）の「団体課題別人材力支援事業」に当協会の企画が採択され、同社とコンソーシアムを組織し、採用・定着支援等の 4 事業を実施する予定だ。

同社は昨年度の事業を通して、会員企業から多くの悩みを聞くことができたそうで、今後も、会員企業の様々な問題に耳を傾け、支援につなげていきたいとのことであった。

今回の出席者は次のとおり（順不同・敬称略）。

正会員　中部第一輸送㈱

出席者： 水谷 靖之
松村 隆徳
所在地： 愛知県海部郡蟹江町須成西 10 丁目 8 番地
TEL　0567 － 96 － 0081
URL　http://www.cdy.co.jp
処理業開始年月日： 平成 20 年 8 月

左から水谷氏、松村氏

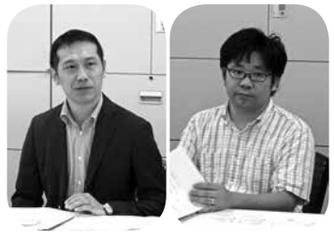
賛助会員　東京海上日動火災保険㈱

出席者： 課長　岡本 弘一
課長代理　大橋 由幸
所在地： 東京都千代田区丸の内 1 － 2 － 1
TEL　03 － 3285 － 1822
URL　http://www.tokiomarine-nichido.co.jp
事業内容： 損害保険業

左から岡本氏、大橋氏

賛助会員　エコスタッフ・ジャパン㈱

出席者： 代表取締役　田部 和生
ネットワーク向上グループマネージャー　上田 浩貴
所在地： 東京都中央区日本橋茅場町 1-10-8 グリンヒルビル 3F
TEL　03 － 5643 － 7222
URL　http://ecostaff.jp
事業内容： 調査・コンサルティング、ネットワーク運営、教育研修



左から田部氏、上田氏

賛助会員　アデコ㈱

出席者： シニアセールス　市川 純太
所在地： 東京都新宿区西新宿 1 － 22 － 2　新宿サンエービル 6F
TEL　03 － 5326 － 2120
URL　http://www.adecco.co.jp
事業内容： 人材サービス業

市川氏

施設見学会

杉田建材㈱の低濃度 PCB 廃棄物の無害化処理に係る取り組み

中間処理委員会（碩委員長）は、施設見学会として 7 月 20 日㈬に千葉県の杉田建材㈱市原サーマルセンター（千葉県市原市万田野 481 番 2）を訪問した。委員会及び各分科会より 18 名と事務局より 2 名が参加し、総勢 20 名での訪問となった。見学会の冒頭に、杉田昭義常務取締役よりご挨拶を頂き、同社の沿革や各種事業への取り組みなどについてのご説明をいただいた。以下に、同社の福田晃司次長がまとめられた施設内容をもとに報告する。

杉田常務（前列左より 4 人目）との集合写真

杉田建材株式会社（代表取締役社長杉田一夫氏、千葉県市原市万田野 26 番地）は、平成 25 年 10 月、低濃度 PCB 廃棄物の無害化処理に係る環境大臣認定を取得、平成 27 年 3 月には、品目等を拡大して、2 回目の認定を受けた。そして、平成 28 年 3 月には、微量 PCB 汚染廃電気機器等の 1 日当たりの処理能力を 24 トンから 48 トンへ増強して、3 回目の認定を受けた。同社は、微量 PCB 汚染廃電気機器等の絶縁油だけでなく筐体や汚染物・処理物まで処理できる施設である。

微量 PCB 汚染絶縁油などの廃油、トランスやコンデンサといった廃電気機器類のほか、ドラム缶等の金属くず、陶磁器くずやがれき類、廃プラスチック類などの汚染物及び処理物も受け入れることができる施設で、1 日当たりの処理能力は廃油が 24 キロリットル、汚染物及び処理物が 10 トン、廃電気機器等が 48 トンとなっている。

同社では、平成 22 年から 5 回の実証試験を実施し、安全・確実な処理が行えることを確認してきた。操業開始は実証試験の範囲内で稼働し、問題が無いことを確認した後、申請能力で処理を継続的に行っている。

低濃度 PCB 廃棄物はストーカ炉と固定床炉 2 基で焼却処理する。廃油は燃焼温度 850℃以上で、ストーカ炉内部に噴霧して燃焼させる。廃プラスチック類等の汚染物及び処理物はプラスチック製密閉容器に封入して、ストーカ炉に投入し、焼却する。廃電気機器等の汚染物及び処理物は専用コンテナにセットしてから、固定床炉へコンテナごと装入して、加熱温度 850℃以上で加熱し、PCB を加熱・気化させる。固定床炉で揮発させた PCB を含むガスはストーカ炉に導引して無害化する。

廃電気機器類は必要に応じて前処理を行い、重量 6 トン以下、幅 2.9 メートル、奥行 1.45 メートル、高さ 1.60 メートルまでにして、固定床炉にて処理を行っている。

場内には、廃電気機器等の低濃度 PCB 廃棄物を受入れて、荷降しを行う荷降し場や、保管する場所を増設し、廃電気機器類等から汚染絶縁油などを抜油する作業所を設けており、廃油が含まれた状態でも受け入れることができる。また、廃油はドラム缶やタンクローリーでの搬入にも対応している。そのほか、廃油の保管タンク、筐体付属品の取り外しや抜油の前処理を行う前処理作業所及び第二前処理作業所、無害化処理後の筐体などの保管所なども設置している。

同社は、環境省に対して低濃度 PCB 廃棄物の無害化処理に係る環境大臣認定（平成 28 年第 5 号）を改めて取得したので、更なる事業拡大を図ることにより、低濃度 PCB 廃棄物の無害化処理の推進に引き続き貢献されることと思われる。

なお、微量 PCB 汚染廃電気機器等の処理を検討されている場合は、同社市原支店営業部（℡ 0436-24-0511）までお問合せ頂きたい。

（㈱ハチオウ　森　雅裕　記）

許可看板（場内入口の見通しの良い場所に掲示、環境大臣認定は右奥に掲示）

固定床炉（環境整備が徹底され、維持管理の質の高さが感じられた）

部内勉強会『だれもが働きやすい職場環境づくり』

映像をみながら学ぶ

7月21日㈭に開催された部内勉強会では『だれもが働きやすい職場環境づくり』というテーマで、**ダイバーシティマネジメント**について、株式会社FeelWorks代表前川孝雄氏の動画を視聴し、その後実際に取り組みが成功している宮城県岩沼市の産業廃棄物処理業者、株式会社佐藤金属の事例を参考に勉強をしました。

ダイバーシティとは、直訳すると「多様性」のことで、「多様な人材を活かす戦略」を指します。

現在のダイバーシティの取組の中で一番進んでいるのは、女性の活躍推進ではないかと思いますが、前川氏はそんなに簡単に変われるものではないとお話されていました。

ダイバーシティが進まない理由は、戦後70年掛けて男性が働きやすいように作られてきた社会・ルールを女性も働きやすいように変えていくのは同じように時間がかかること。そんな中で「女性が長く働く仕組みは出来てきた」と氏は言っています。ただ、これは女性も男性同様に働いてきたからで、これからは次のステップである長く働けるための時短・在宅の仕組み、定着して活かす仕組みの段階にあるそうです。ここには、男性だけでなく女性側の意識改革も必要だということでした。

ダイバーシティ成功への3ステップは、①相互理解　②動機形成（意味・意義・前向き）③協働意識を持ち、現場と営業、経営者とコミュニケーションを取っていくことだと話されていました。

二木部長の挨拶

昔はポストと報酬が動機形成の要因でしたが、今は全ての人が重要な仕事と意味付け、仕事に上下はなく、経営者・上司は組織を束ねる役割で、個々の仕事が組織の目的のために無くてはならないものという考え方に変わってきているそうです。今まさに私たちはパラダイムがシフトする時代にいるようです。

すでに取組が成功している株式会社佐藤金属では、「週3日、1日3時間以上」のフレキシブルなワークスタイルの提案をして、子育てに妥協はしたくないけれど、社会参画したいお母さんが多数働いています。これを成功させたのが、きめ細やかなシフト制と必要最低限の方法を示す「ガイドライン」で、これを基本としながら先輩社員が都度状況に応じた対応を丁寧に指導する「仕組み」と「コミュニケーション」の両輪が回っている成功事例でした。

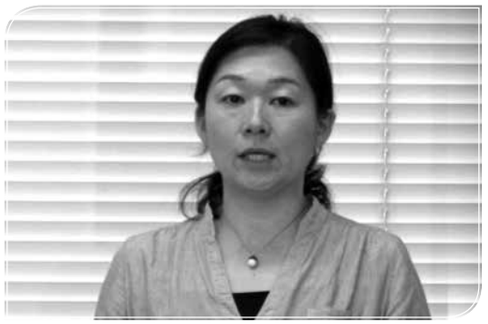
今回の勉強会で、導入したいけど就業規則が・・と躊躇していたら「イクボス式会社の就業規則」という冊子まで準備されていました。これは現在の就業規則をダイバーシティ仕様に改善するときの具体的な質問と改善案が示されていて、実践で使用できそうなものでした。インターネットからも見られますが、今回参加した女性部員も一冊ずつ持ち帰っていますので経営者、人事・総務担当の方は是非ご一読ください。

女性部では今後も継続テーマとして、各社の成功事例・問題点などの分析にも取組んでいき、この業界が、他のどの業界にも先駆けてダイバーシティに成功することを期待します。

「違い」を受け入れ積極的に生かし生かされて生きていきましょう。

（㈱ハチオウ　大野 晶子 記）

渡邉副部長より概略説明



司会・進行担当の平原さん

「ベルマーク回収による東日本大震災被災校への支援活動」にご協力ありがとうございました

日頃より、当協会の事業活動についてご理解、ご協力を賜わりお礼申し上げます。

東日本大震災により深刻な被害を受けた地域の学校への支援活動として、昨年８月より会員の皆様にご協力をお願いしてまいりましたベルマーク回収事業につきましてご報告申し上げます。

お寄せいただきましたベルマークの合計点数＊は、約 10,000 点となり、６月 17 日付でベルマーク運動の運営団体である公益財団法人ベルマーク教育助成財団に寄贈いたしました。

ご協力いただいた会員企業（敬称略）は下記のとおりです。多くのご支援に心より感謝申し上げます。

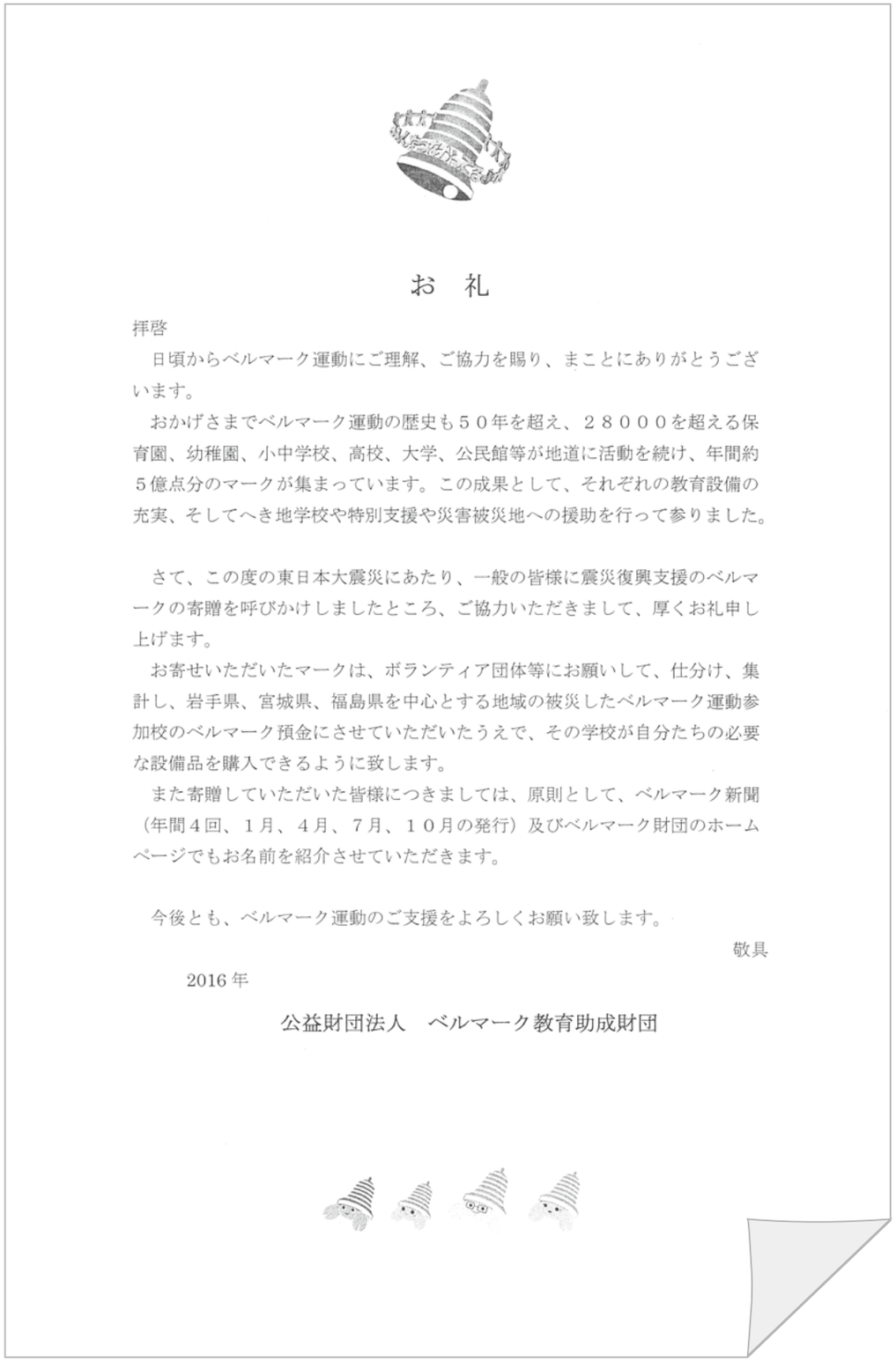
なお、ベルマーク教育助成財団よりお礼状が届きましたので、次頁に掲載いたします。

一般社団法人東京都産業廃棄物協会
会　長　　高 橋 俊 美
女性部部長　二 木 玲 子

協力会員企業名　＜五十音順＞

大谷清運㈱	高俊興業㈱
オキノ	㈱東京クリアセンター
加藤商事㈱	東京トリムテック㈱
㈱クマクラ	㈱都市環境エンジニアリング
㈱クリエイト	㈲八栄興業
小坂産業㈱	㈱ハチオウ
㈱三凌商事	松田産業㈱
ＪＦＥ環境㈱	武蔵野土木工業㈱
㈲スリーシープランニング	㈱メッドトラスト東京
成友興業㈱	リサイディアコーポレーション㈱

＊なお、合計点数は女性部による集計結果です。



お　礼

拝啓

日頃からベルマーク運動にご理解、ご協力を賜り、まことにありがとうございます。

おかげさまでベルマーク運動の歴史も５０年を超え、２８０００を超える保育園、幼稚園、小中学校、高校、大学、公民館等が地道に活動を続け、年間約５億点分のマークが集まっています。この成果として、それぞれの教育設備の充実、そしてへき地学校や特別支援や災害被災地への援助を行って参りました。

さて、この度の東日本大震災にあたり、一般の皆様に震災復興支援のベルマークの寄贈を呼びかけしましたところ、ご協力いただきまして、厚くお礼申し上げます。

お寄せいただいたマークは、ボランティア団体等にお願いして、仕分け、集計し、岩手県、宮城県、福島県を中心とする地域の被災したベルマーク運動参加校のベルマーク預金にさせていただいたうえで、その学校が自分たちの必要な設備品を購入できるように致します。

また寄贈していただいた皆様につきましては、原則として、ベルマーク新聞（年間４回、１月、４月、７月、１０月の発行）及びベルマーク財団のホームページでもお名前を紹介させていただきます。

今後とも、ベルマーク運動のご支援をよろしくお願い致します。

敬具

2016 年

公益財団法人　ベルマーク教育助成財団

委員会報告

青年部（石田部長）

平成 28 年 7 月 5 日㈫ 15 時より協会会議室において、15 名の幹事が出席し、青年部幹事会を開催した。

石田部長より平成 28 年度の事業計画及び予算について説明があったほか、8 月以降に予定している各行事について、担当する委員会より、準備の進捗状況等が報告された。

また、平成 28 年度の幹事会開催日程の決定と、今後の環境事業活動についての協議が行われた。

次回の幹事会は、8 月 17 日㈬ 15 時より、協会会議室にて開催する。

法制度検討委員会（篠原委員長）

平成 28 年 7 月 27 日㈬ 14 時より協会会議室において、8 名の委員とオブザーバー 1 名（弁護士　芝田麻里 氏）によって開催した。

検討テーマは、前回に引き続き東産協版のマニフェスト Q&A 集作成についてである。前回の検討内容を踏まえて芝田弁護士が集約し直した Q&A 集のたたき台をもとに、内容や細かい表現の修正についてなど、活発な議論が行われた。

最終案作成のために、次回は法制度検討委員会集中会議に場を移して開催をすることとなった。8 月または 9 月中に 1 泊 2 日で開催を予定している。

リサイクル情報

かながわリサイクル認定製品　サンリョウ有機

株式会社三凌商事　　http://www.tyo-sanryo.co.jp/

「かながわリサイクル製品認定制度」は、神奈川県が平成 22 年に創設し、廃棄物等の発生抑制、資源の循環的な利用の促進、県内のリサイクル産業の育成と振興を図るため、循環型社会の形成を目指すことを目的に、リサイクル製品の品質、安全性について一定の要件を満たしたものを神奈川県が認定し、県自らが認定製品の PR をホームページや報道発表などを通じて行い、リサイクル製品の利用促進を図る画期的な制度として誕生しました。

第 1 回の募集において基準を満たした 14 製品が認定され、その中の一つとして㈱三凌商事の独自ブランドである肥料製品「サンリョウ有機」が選ばれました。

この制度の認定要件として、①神奈川県内での販売と安定した供給、②県内で発生した循環資源を原料として製造、③生活環境の保全のために必要な措置が講じられている事業場で製造が行われている、④原料調達、製造、販売、廃棄等において関係法令等が遵守されている、⑤県の設定した安全性・品質等の認定基準を満たしていることなどがあり、現地調査も含め、県職員と多方面の識者で組織された認定委員会の選考で認定の有無が決まります。

今回認定されたサンリョウ有機は、神奈川県愛甲郡愛川町にある、臭気を外部にださない屋内型密閉式の発酵施設「三凌愛川リサイクルセンター第 2 工場」で製造しました。食品関連工場の製造過程から排出される、動植物性残さと汚泥に、剪定枝由来のおが屑を混合し、約 4 ヶ月間の好気性発酵と熟成を経て、サンリョウ有機肥料として製造されます。

同施設は 2000 年に産業廃棄物中間処理施設として ISO14001 を認証取得して以来、徹底管理の下、安心・安全をモットーに安心してご利用いただける肥料の製造を心がけて参りました。そうした長年積み重ねた努力が農家の方々に受け入れられ、幅広いエリアでの販路拡大に繋がってきたと思います。また製造された肥料は特殊肥料に分類されるため、初めての方でも扱いやすく家庭菜園をされる方にも好評を得ています。

肥料は野菜など人が口にする食物に直接作用します。厳しい原料管理、定期的な放射能分析や肥料分析管理を行い、循環型社会構築のため安全で良質な肥料を作ることで社会に貢献して参りたいと思います。

㈱三凌商事　大崎 秀也

肥料製造の要となる
アニコ脱臭装置

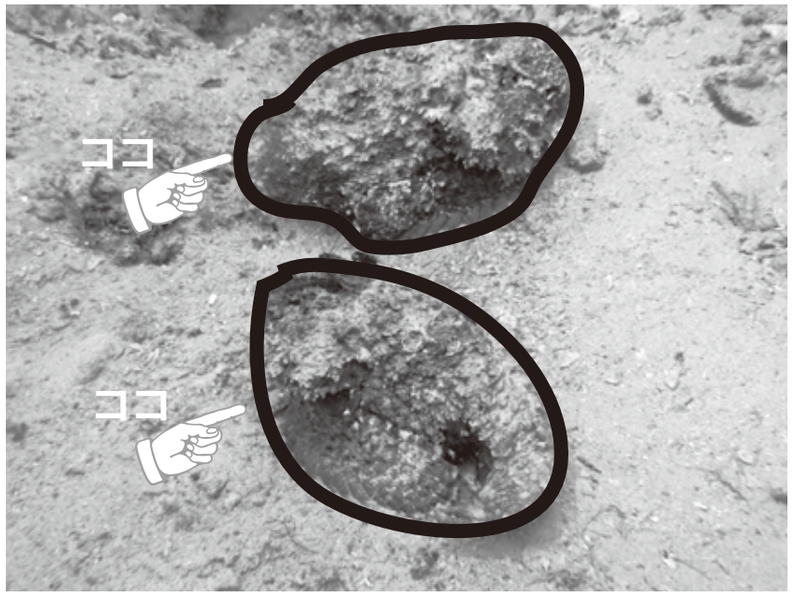
三凌愛川リサイクルセンター第 2 工場

認定マーク

かながわリサイクル認定製品に
選ばれたサンリョウ有機肥料

お魚を探せ！表紙写真クイズ

正解と解説



正解の生き物は・・・オニダルマオコゼ

●第 311 号表紙の写真解説 : オニダルマオコゼ（鬼達磨朧）
〔学名 :Synanceia verrucosa　英名 :Reef stonefish（浅瀬の岩のような魚）〕
●撮影者 : 阿部　秀行　氏　（協会専任相談員）
●撮影地 : インドネシア（ラジャーアンパット）水深 10m　**●体長 :**40cm
●生息地 : インド洋・大平洋西部熱帯域。日本では小笠原諸島、奄美大島、沖縄等
●撮影者コメント : この魚は岩に擬態し、じっとして小魚や甲殻類を捕食します。浮き袋がないのであまり泳ぎが得意ではない底生魚です。また、この魚の背ビレには強力な神経毒があり、刺されると死に至ることもあります。ダイバーは写真等を撮影するとき、体を固定するため、岩に捕まることがありますが、そのような時は、注意しないと刺されてしまうこともあります。この魚は、顔は怖いような可愛いような、ユーモラスな顔をしていますが、白身でから揚げにするとすごく美味です。

※今月の表紙写真クイズの応募要領は次頁をご覧ください。

抽選で QUO カードが当る！

お魚を探せ！表紙写真クイズ

表紙写真の中に隠れている生物を探してください。

応募要領

■募　集　期　間　第３０９号（平成 28 年 5 月号）から
第３１４号（平成 28 年 10 月号）まで

■賞品・当選者数　QUO カード ¥1,000 円分・毎号 5 名

■応　募　方　法　① 該当月の表紙をコピーし、正解の生物の形がわかるように太線で囲んでください。（回答例参照）
② 会社名、会社住所、所属部署名、電話番号、氏名を明記の上、**郵送にて**下記へお送りください。

■応募時のご注意　＊ 当協会の正会員・賛助会員企業に所属する従業員のみご応募いただけます。（1 社につき何名でも応募可）
＊ ただし、ご応募は、毎号お一人につき 1 回とさせていただきます。

■応募の締切日　毎月第３水曜日必着
※第３１２号の締切は平成 28 年 9 月 14 日㈬ 必着

■当選者の発表　正解者の中から厳正な抽選の上、賞品の発送をもって代えさせていただきます。
なお、正解は次号に掲載します。

回答例

【郵送先】

〒 101-0047
東京都千代田区内神田 1 － 9 － 13 柿沼ビル 7F
事務局広報委員会『表紙写真クイズ』担当　行

身近な ヒヤリ・ハット事例 Part100

	何処で	何をしている時	何がどうした	改善すべき事項
1	一般道路で	交差点進入時	交差点で左折しようと、横断歩道手前で一時停止後に発進しようとしたところ、死角から自転車が飛び出してきたため、巻き込みそうになった。	いつ死角から自転車や歩行者が出てくるか分からないので、ゆっくり発進する。
2	一般道路で	走行中	片側二車線道路の右折ラインのない所で、対向車が右折してきて、接触しそうになった。	何が起きるか分からないので、周囲をしっかり見て、状況に応じた安全な速度で運転する。
3	一般道路で	走行中	前を走っていたタクシーが客を乗せるために急に止まったため、追突しそうになった。	常に車間距離を取り、スピードを落として走行する。
4	一般道路で	走行中	隣の車線を走っていた車が、合図を出さずにこちらの車線に来たため、接触しそうになった。	周囲の車の動きに十分注意を払いながら運転する。
5	高速道路で	走行中	前車が左側の出口へ降りようとしていたが、いきなりウィンカーも出さずに本線へ戻ってきたため、接触しそうになった。	安全な速度で必要な車間距離を保ち、前車の不意の動きを予測して走行するようにする。
6	現場で	バック時	現場で警備員の誘導に従いバックをしていたら、建物に衝突しそうになった。	誘導だけを信用せず、自分でもミラー・目視で確認する。
7	現場で	作業中	暑い日に作業中、汗がすごく出てきた後に、寒気がしてきて気持ちが悪くなってきた。	水分をこまめにしっかり取り、日陰で休む。
8	現場で	作業中	鉄板付ボードを作業員と積込中、ボードを回転しようとした時に、作業員に当たりそうになった。	周囲の安全と、距離をしっかりと確認して作業する。

「ヒヤリ・ハット」の事例がございましたら、協会までお寄せ下さい。

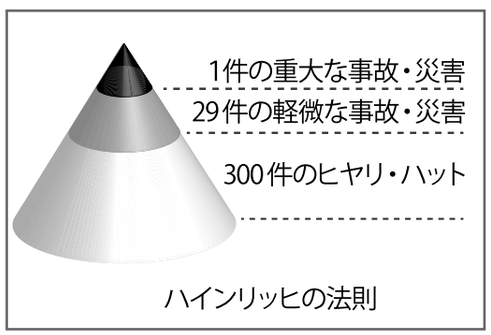
『身近なヒヤリ・ハット事例』掲載 100 回に寄せて

安全衛生推進委員会 副委員長 **阿部 秀行**

本号で「ヒヤリ・ハット」事例の掲載が 100 回目を迎えました。毎回約 10 例を掲載してきたので累計 1,000 事例となります。協会会員から数多くの事例が寄せられたことにより掲載が継続できました。一重にこの業界の安全意識の高さに感謝する次第です。また今後とも「ヒヤリ・ハット」事例の寄稿をよろしくお願いいたします。

「ヒヤリ・ハット」の重要性について

「ヒヤリ・ハット」とは、重大な災害や事故には至らなかったものの、重大事故に直結してもおかしくない一歩手前の事例です。重大な事故が発生した際には、その前に多くの「ヒヤリ・ハット」が潜んでいたとされているだけに、決して見落としてはなりません。「ヒヤリ・ハット」は、結果として事故に至らなかったことから、「ああよかった」で済まされがちです。しかし、職場や作業現場などでは、各個人が経験した「ヒヤリ・ハット」の情報を記録し、分析し、公開し、共有することで、重大な労働災害の発生を未然防止することに役立っています。



ハインリッヒの法則

「ヒヤリ・ハット」の生みの親

「ヒヤリ・ハット」の考え方は、アメリカの損害保険会社の安全技師であるハインリッヒ氏が考えた「ハインリッヒの法則」に基づいています。1 件の重大事故（4 日以上の休業災害）が起こる背後には 29 件の軽微な災害（不休災害を含む 4 日未満の休業災害）があり、その後ろには 300 件の異常な状態（ヒヤリ・ハット）があると言われています。

通常の「ヒヤリ・ハット」は、労働災害として取り扱われ労働基準監督署の労働災害の型として分析されています。

「ヒヤリ・ハット」事例の話

東京都産業廃棄物協会に寄せられた「ヒヤリ・ハット」事例は、交通災害が半分以上を占めるため、交通災害の内容についても合わせて分析を行っています。分析では、1,000 件中の 5 年分にあたる 600 件（平成 22 年から平成 26 年に機関誌に掲載した「ヒヤリ・ハット」）をピックアップし、分析結果を社内教育に役立てていただけるように、講師用のテキスト・講習に使用するテキストにまとめております。

今後、分析内容、対策及び「ヒヤリ・ハット」事例のすべてを掲載した冊子を作成し、公開したいと考えています。

先日、委員会主催により講師向けの講習会を行いましたが、今後も要望があれば再度講習会を開催したいと考えています。「ヒヤリ・ハット」の重要性を社員全員の共通意識としていただき、安全作業に当たっていただきたいと思います。

講師余談・古代史散歩

稲荷山古墳・ヲワケ臣の謎

ヲワケ臣は地元・武蔵の豪族？　世紀の大発見と言われた埼玉・稲荷山古墳鉄剣の銘文に出てくる作刀者・ヲワケ臣は、参考図(『古墳と被葬者の謎にせまる』123頁）のような形で埋葬されており、金錯銘鉄剣は下半身左側に添えられていたとされる。そのヲワケ臣については、地元・武蔵の豪族などではなく、畿内（大和や河内など王都を取り巻く地域）の中央豪族であるとする強い主張がある。

まず、鉄剣の銘文が金象嵌（きんぞうがん）であること。鉄剣の表と裏にタガネで刻み込みをし、そこに金線を埋め込み、叩き出したものが金象嵌（金錯（きんさく）ともいう）だ。当時最新の技術であり、この鉄剣の書体は丸みを帯びた出来栄えの大変良いものだ。こんな立派なものは大王家か有力な中央豪族でなければ手にできないはずだから、東国の一豪族が作刀者であるはずがないというわけだ。

この鉄剣の鉄素材は、中国から持ち込まれた地金が使用されているというから、朝鮮半島産より優れた最高級のものだ。だからヤマト王権の王宮近くにある工房で作成されたであろう。しかし、ヲワケ臣は長年王宮で大王の親衛隊長（丈刀人首）を務めているのだから、こうした高級な鉄剣を作ることが許されるとみてよい。だから作刀者は中央豪族とは限らないのだ。

銘文に込められた思い　刀剣に刻まれた銘文には作刀者の願いが込められているものだが、銘文には一族が丈刀人首として大王家に仕えてきたルーツが記され、一族の王権への奉事（奉仕）の根源を明らかにしている。そうすることによりヲワケ臣の一族が将来にわたってその地位を継承していくことを願っているものなのだ。このような大切な鉄剣が他の族に分与されるとは考えにくい。

ヲワケ臣を中央豪族とみる根拠として、「天下を佐治し」たなどという大それたことが言えるのは、王族や中央の大豪族に限られるとする考えがある。しかし、ヲワケ臣は自分の功績をアピールしているのであり、大王の親衛隊長としての自負が示されていると考えればよく、実際に大きな権力を有していたものと限る必要はない。

ヲワケは稲荷山古墳の主ではない！　これだけの鉄剣の作刀者であり、大王の親衛隊長であったのだから、当然稲荷山古墳の主だと思いたいところだが、どうもそうではないようだ。古墳の後円部の墳頂からは、礫槨（れきかく）と粘土槨の二つの埋葬施設が出土しており、鉄剣は礫槨に副葬されていたものだ。ところが、粘土槨の方が中央に位置しており年代も少し古いという。ヲワケ臣と思われる礫槨の主より上位ということだ。ヲワケが中央豪族で大王の命で東国・武蔵に派遣されていたとすれば、地方豪族の古墳に追葬されるような扱いは受けないから、ヲワケ臣は地元武蔵の豪族ということになる。なお、古墳の主と思われる粘土槨は、盗掘を受けておりほとんど何もなく詳細は不明だ。

ヲワケ、本当は何代目？　じつは、埼玉（さきたま）古墳群で一番最初に築造されたのが稲荷山古墳とされている。鉄剣の銘文によれば、崇神天皇の代の四方の征討に派遣された４人の将軍＝四道将軍の一人、オオヒコを始祖としヲワケ臣で８代目だとしている。しかし、①オオヒコから⑤タサキワケまでは系譜に類型的にみられる尊称を含むもので、５代までは伝説の時代、⑥ハテヒ⑦カサヒヨ⑧ヲワケの３代は個人的名称で実録の時代とみるべきとされている。それでも３代目が初めての古墳に埋葬されていることになり、初代ハテヒ、二代カサヒヨの古墳はないという奇妙なことになる。同一古墳に埋葬されるのは兄弟か子供が一般的なので、粘土槨の人物は兄ではないかと考えられる。

ところが地下レーダーの探査の結果、後円部中央の地下の深いところに、さらに第三の埋葬主体がありそうだということが分かった。考古学者や埼玉県は発掘を強く望んでいるが文化庁は国の史跡だから駄目だといい、発掘調査は当分行われそうにないという。もし埋葬主体がでてくれば、父親のカサヒヨかも知れない。

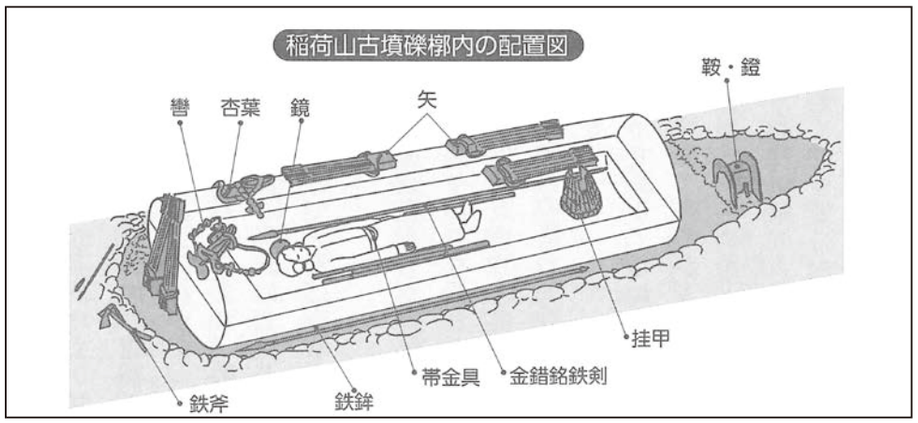
親から引き継いだ一族を兄弟で守る　こうしてみると、父カサヒヨが武蔵の豪族として威勢を張り、兄弟のうち弟ヲワケが、一族や周辺の中小豪族の子弟を組織して丈刀人の部隊を編成し大王の王宮に出仕し、長い間、丈刀人首（親衛隊長）としての実績を上げ、一族の声望を高め、大王からの見返りとして多くの先進文物や技術を郷里の一族にもたらす。

一方、兄は父を助け武蔵一帯の支配を守り、父なき後は地域社会の支配者として一族の地位を維持していく。産廃処理会社でもよく見られる兄弟が力を併せて親から渡された会社を維持・発展させる構図そのものだ。

しかし、弟ヲワケ臣はやがて親衛隊長を辞し郷里に戻る。そこでは兄の地域支配が確立されており、元親衛隊長といえども地元ではナンバー２にすぎず、やがて兄のために築造された古墳に追葬されてその生涯を終える。こうした物語が想像できる。

鉄剣の銘文や出土品からは実に多くの貴重な情報が得られ、さらに多くの興味深いことが分かるのだが、それは次回に譲ろう。　（古川　芳久）

＊『大王から天皇へ』熊谷公男（2008年講談社学術文庫：日本の歴史 03）
＊『古墳と被葬者の謎にせまる』大塚初重（2012 年祥伝社）



税務相談

顧問　公認会計士
梅　澤　　隆

相続で取得した父の居住用財産の譲渡所得の特別控除について

質　問

平成 28 年度の税制改正で私の場合のように、父親から相続した居住用財産を、相続人が住まなくても相続後の一定期間に譲渡した場合には、居住用財産の譲渡所得の3000万円控除ができることになったと聞きました。具体的に状況を説明致します。

現在、私は自分の家を持っております。父から相続した土地と家は今、誰も住んではいません。二つの家を管理するのは大変です。父から相続した家の処分を検討しています。

税制改正があって、今までは、認められなかった 3000 万円控除が認められることになれば、税負担の軽減となります。

適用されるための要件等を教えてください。

回　答

従来は、所有者として居住の用に供したことがない被相続人の居住用財産を譲渡しても、3000 万円控除の特例は認められておりませんでした。

しかし、空き家の発生を抑制し、地域の生活環境への悪影響を未然に防ぐ観点から今回の制度が導入されました。

〈制度の概要〉

被相続人の居住用財産について、相続により生じた空き家であって旧耐震基準（昭和 56 年 5 月 31 日以前の基準）しか満たしていないものに関し、新たに、相続人が必要な耐震改修又は除却を行った上で、家屋又は土地を売却した場合には、譲渡所得について 3000 万円の特別控除ができる制度です。

〈適用要件〉

（１）相続や遺贈によって取得した被相続人の居住用家屋及びその敷地
（２）昭和 56 年 5 月 31 日以前に建築されたものであること
（３）マンション等の建物の区分所有等に関する法律第 1 条の規定に該当する建物でないこと
（４）家屋の使用用途・・相続開始直前まで被相続人の居住の用に供されていた家屋
（５）居住制限・・相続開始直前に被相続人以外に居住していたものがいないこと
（６）譲渡時期・・平成 28 年 4 月 1 日から平成 31 年 12 月 31 日までの間に譲渡したものであること。
その相続の開始があった日以後 3 年を経過する日の属する年の 12 月 31 日まで
（７）譲渡金額・・1 億円以内
（８）その相続の時から除却・譲渡の時まで事業の用、貸付の用、居住の用に供されていないこと
（９）その譲渡の時において地震に対する安全性に係る規定又は基準に適合するものであること
（10）親子間や夫婦など特殊関係者間の売買でないこと

質　問

もし、父が老人ホームに入居していた場合はどうなりますか。

回　答

老人ホームに入居している場合、相続税で土地等を評価する場合に小規模宅地の評価の特例があります。

しかし、本特例には相続開始直前に、被相続人以外の者が居住していない、すなわち被相続人が単独で居住していた家屋が適用対象となります。

相続開始前に老人ホームに入居した場合は、生活の拠点がそれまでの居住用家屋から老人ホームに移り、制度趣旨からも本特例の適用は認められないようです。

質　問

相続開始時期と譲渡期間の適用関係はどうなりますか。

回　答

適用期間については、平成 28 年 4 月 1 日から平成 31 年 12 月 31 日までの譲渡。

相続の時期との関係は「相続開始があった日から同日以後 3 年を経過する日の属する年の 12 月 31 日までの間にしたもの」に限定されています。

相続開始の時期	譲渡期間
平成 25 年 1 月 2 日～平成 26 年 1 月 1 日	平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日
平成 26 年 1 月 2 日～平成 27 年 1 月 1 日	平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日
平成 27 年 1 月 2 日～平成 28 年 1 月 1 日	平成 28 年 4 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日
平成 28 年 1 月 2 日～	平成 28 年 4 月 1 日～平成 31 年 12 月 31 日

上記は平成 25 年 1 月 2 日以後の相続開始分から適用対象となり、平成 25 年 1 月 2 日以後平成 26 年 1 月 1 日までに発生した相続については、平成 28 年 4 月 1 日から同年 12 月 31 日までに譲渡をしたならば 3000 万円の控除の適用が受けられます。

同様に平成 26 年 1 月 2 日から平成 27 年 1 月 1 日の相続分については、平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日に居住用家屋を譲渡したならば 3000 万円控除の適用が受けられる関係を示しています。

本規定は今、すでに発生している相続についても適用があることを示しています。今後発生する相続ばかりではありません。

質　問

共有で相続した場合はどうなりますか。

例えば、兄弟で空き家を共有で相続し、譲渡した場合は、譲渡対価 1 億円の要件の判定は、共有者ごとになるのですか。

また、3000 万円控除の取り扱いは、どうなりますか。

回　答

譲渡対価については、全体の譲渡対価で判定する必要があります。

例えば空き家と敷地を兄弟で持分 1/2 ずつ相続し、物件を 1 億 2000 万円で譲渡した場合、各人の持ち分は 1/2 のため、6000 万円が兄弟それぞれの所得となります。

兄弟は、それぞれは 1 億円未満です。要件を満たしているようにも見えます。

しかし、譲渡対価 1 億円の要件は全体の譲渡対価で判定するために、兄弟は本特例の適用は受けられません。

次に、3000 万円控除は兄弟それぞれが受けることができるのか、できないのか。

本特例は、一定の空き家の譲渡を居住用財産の譲渡とみなし、従来からある「居住用財産の譲渡所得の特別控除」としての 3000 万円控除が受けられるもの。この特例において、共有者 1 人ずつが 3000 万円控除を受けられることになります。

質　問

（分割譲渡する場合）

例えば、空き家等を 2 回に分けて譲渡した場合は、どうなりますか。

1 回目の譲渡対価は 8000 万円、2 回目は 3000 万円、合計 1 億 1000 万円となった場合、譲渡価額 1 億円の要件との関係で本特例を受けられるのでしょうか。

回　答

平成 28 年 4 月 1 日から 31 年 12 月 31 日までの間に一定の譲渡（相続開始があった日から同日以後 3 年を経過する日の属する 12 月 31 日までのものに限る）をした場合に 3000 万円控除ができます。

譲渡は 1 回とは限りません。

最初の譲渡である「適用前譲渡」の翌日 1 月 1 日から 3 年を経過する日の属する年の 12 月 31 日までは「適用後譲渡」として譲渡価額を合算します。

例えば、平成 27 年 11 月 1 日に相続が発生し、翌年の平成 28 年 9 月に相続人が取得した一部を 8000 万円で譲渡した場合は、「適用前譲渡」に該当し、平成 28 年度は確定申告で 3000 万円控除を受けることができます。

その後、平成 29 年 1 月 1 日から 31 年 12 月 31 日までの間に残り部分を 3000 万円で譲渡した場合、「適用後譲渡」に当たり、適用前譲渡と適用後譲渡の合計額は、1 億 1000 万円となり 1 億円を超えるので本特例の適用がなくなります。切り売りにより譲渡価額要件（1 億円）を回避することを制限するために設けられました。

もし平成 30 年 4 月に適用後譲渡をした場合は、平成 28 年の所得税について修正申告書を提出し、納付すべき税額を納付しなければなりません。

協会の主な今後の日程

（平成 28 年 8 月 1 日現在）

月	日	曜日	行　事　予　定	備　考
8	3	水	女性部　幹事会　17:00 ～ 20:00	外部会議室
	8	月	広報委員会　14:00 ～	協会会議室
	17	水	青年部　幹事会　15:00 ～	協会会議室
	19	金	< 協会実施 > 「第二回 産業廃棄物処理実務者研修会　（基礎コース）」 10:00 ～ 16:30	フォーラムミカサエコ（内神田）
	23	火	医療廃棄物委員会　15:30 ～	協会会議室
	24	水	平成 28 年度第 1 回「適正処理懇談会」　15:00 ～	外部会議室
	30	火	女性部「大学生向け PR イベント」（環境教育）　14:00 ～ 16:00	アーツ千代田 3331（外神田）
9	2	金	多摩支部　「施設見学会」	福島県
	3	土	↓	
	6	火	政党要望ヒアリング	都議会議会棟
	7	水	青年部　幹事会　13:00 ～	協会会議室
	8	木	安全衛生推進委員会　15:00 ～	協会会議室
	14	水	広報委員会　10:00 ～	協会会議室
			常任理事会　13:30 ～ /　第 30 回理事会　14:30 ～	協会会議室
	15	木	< 協会実施 > 「電子マニフェスト操作体験セミナー」　14:00 ～ 16:00	Win スクール新宿本校
			女性部 関東地域協議会女性部会合同「勉強会」　14:00 ～	情報オアシス神田
	16	金	収集運搬・中間処理委員会合同「研修会」　13:00 ～	協会会議室
			医療廃棄物委員会　「医療廃棄物合同懇談会」	静岡県
	23	金	建設廃棄物委員会　10:00 ～	協会会議室
			青年部　関東ブロック幹事会　14:00 ～	協会会議室

事務局だより

7 月 26 日、当協会の常任理事会があった。小職が喫煙に行くと、そこに会長がおいでになっていた。会長から、突然、事務局長は「すっぽん」知っているか、とのこと。小職としては、咄嗟に「月とすっぽん」の言葉が脳裏をかすめ、一瞬「私のことですか」と言い出しそうになったが、グッとこらえた。よく話を聞くと、今度機会があれば、一緒に食べに行こうかということだった。すっぽんと言えば、あれもたぶん亀族だろう。同じカメでも、ウミガメは、昔、島嶼部では、離島であるがゆえ、食用とする家畜がいないため、島民の動物性蛋白質を摂取する代用として食されていた。現在、お祝い事などの時に解体したかめ肉を、煮込みや刺身にして、郷土料理として食されている。かめ肉には、独特のかめ臭が有り、一般的に敬遠されることが多いため、飲食店では、観光客用に香辛料でかめ臭を消して出されている。今風に言うと「ジビエ料理」だ。ヨーロッパでは貴族の伝統料理として古くから発展してきた食文化だ。ただし、今では、その漁獲量は東京都漁業調整規則等で厳しく制限されている。

小職の赴任経験のある八丈島では、特にご年配の方は、風邪をひきそうな時、急な寒気を感じた時、腹の調子が悪い時などは、まずはかめ肉を食す。医療機関に行くのはその後だ。小職も地元の行事に呼ばれたとき、何度かいただいたことがある。塩味でゆで、アシタバをのせただけのシンプルなスープ仕立てだ。色の濃い黄色い脂が浮いている。見ただけで、これを人間の体に取り込むと相当元気が出そうな気がする。なにせ、「ツルは千年、カメは万年 (生きる) 」と言う位だ。人間の体に効かない訳がない。学校の食育本にも「ツルツル飲むな、よくカメカメ」とある。どうもツルよりカメのほうが分がよさそうだ。ただ、ツルは、一旦「つがい」になり、その後、一方が病気や事故等命を落とすと、残った一方は一生独身で過ごすそうだ。人間よりも、数段上の倫理観・哲学観を持っているような気がしてならない。

さて、東京 23 区では、このたび「事業系ごみ」の減量やリサイクルを推進し、受益者負担の適正化を図るため、事業系一般廃棄物処理手数料をこれまでの 36.5 円 /kgから 3.5 円値上げし、来年 10 月から 40.0 円 /kgに改定するそうだ。料額は、概ね 4 年毎に見直しているとのことで、特別区においては、今後、新料金の円滑な定着に向け、周知活動を丁寧に行なっていくとしている。なお、今回は、持込み料金については変更ないとのことである。

現在、当協会会員企業も何社か事業系一般廃棄物の収集運搬を担っている。この料金は、許可業者と事業系一般廃棄物の収集・運搬・処分契約を結ぶ際の契約上限額でもある。

一般廃棄物である以上、特別区も直営で収集運搬を行っているが、排出事業者の新たなコスト負担回避というインセンティブが働けば、結果として、許可業者間の価格競争がさらに厳しくなることが予測される。巷間、排出事業者と許可業者の間に、排出事業者向け経営コンサルを業とするビジネスもあると聞いている。

人材を確保し、資機材を整え、業の許可を得ている者が、「事業収益」の確保という経済活動の原点において、個人的見解ではあるが、少しずつ追い詰められつつあるような気がしてならない。　（横手）

編集後記

都知事選の結果が出ました。初めての女性知事の誕生です。環境問題には詳しい知事ですので環境政策についても変化が出てくることでしょう。

今夏は雨が少ない割に梅雨明けまでが長くかかったような気がしています。夏はやはり蝉でしょうか。例年より、その声が少ないように感じますが、風物詩のひとつと言えるでしょう。

どこかの報告書に出ていましたが、circular economy という言葉が使われていました。これが循環経済という単語に対応するのでしょうか。最近の環境関係の各種報道には再利用に関するものが増加してきたように想います。循環経済と再利用、これは直接的には対応しない概念ですが、製品の設計に際して、これらの概念を考慮していく傾向が強くなってきました。

我が業界としても、こうした考え方に基づいた業務のあり方を考察していくべきかと存じます。

一連の人事異動も終了し、我が業界も行政も新しい顔ぶれでのそれぞれの業務が開始されています。

今年は例年と比較して、人事の刷新が多かったように感じています。何時の世でもそうですが、代替わりは必ず訪れるものです。そうした中で、新たな試みが出てくることでしょう。それが進歩に繋がってきます。

協会も木村専務理事を迎え、協会組織の一層の充実が図られるものと期待しているところです。

どうか、会員の皆様には、協会・事務局また、広報委員会に対しても一層のご支援をお願い致します。

従前申し上げていますように、皆様からの貴重なご意見をいつもお待ち申し上げていますので、何かございましたならば、事務局へご一報下さい。　（乙顔）

とうきょうさんぱい

第 33 巻 第 5 号　通 巻 第 312 号

平成 28 年 8 月 10 日発行

発 行 人　高　橋　俊　美

企画・編集　広　報　委　員　会

発　　行　一般社団法人東京都産業廃棄物協会

〒 101 － 0047
東京都千代田区内神田 1 － 9 － 13
柿沼ビル 7F
TEL　03（5283）5455（代表）
FAX　03（5283）5592
http://www.tosankyo.or.jp
E-mail;info@tosankyo.or.jp

暑中お見舞申し上げます

2016年 盛夏

会　長
高俊興業㈱
代表取締役会長 高橋俊美
東京都中野区新井1－11－2
電話03－3389－8111

常任理事
成友興業㈱
代表取締役 細沼順人
東京都あきる野市草花1141－1
電話042－558－4111

副会長
㈱三凌商事
代表取締役社長 赤石賢治
東京都町田市木曽東1－34－6
電話042－726－2647

理　事
白井エコセンター㈱
代表取締役 白井徹
東京都足立区入谷5－16－28
電話03－3897－1327

副会長
㈱京葉興業
代表取締役 鈴木宏和
東京都江戸川区篠崎町1－2－6
電話03－3678－0111

理　事
比留間運送㈱
代表取締役 比留間久仁男
東京都武蔵村山市中央2－133－1
電話042－565－1336

副会長
加藤商事㈱
代表取締役社長 加藤宣行
東京都東村山市恩多町1－12－3
電話042－392－1001

理　事
大谷清運㈱
代表取締役 二木玲子
東京都葛飾区水元1－3－13
電話03－3600－5561

常任理事
㈱東亜オイル興業所
代表取締役 碩孝光
千葉県八千代市上高野1728－5
電話047－485－7189

理　事
相田化学工業㈱
代表取締役 相田英則
東京都府中市南町6－15－13
電話042－368－6311

常任理事
㈱五十嵐商会
代表取締役 五十嵐和代
東京都練馬区三原台2－1－27
電話03－3922－7547

理　事
東京ボード工業㈱
代表取締役社長 井上弘之
東京都江東区新木場2－11－1
電話03－3522－4139

暑中お見舞申し上げます

2016年 盛夏

理　事
㈱都市環境エンジニアリング
代表取締役社長 伊藤憲男
東京都江東区木場5－6－35
電話03－5639－0740

正会員
㈲青木建材
代表取締役 青木早苗
神奈川県川崎市宮前区南平台8－29
電話044－976－2001

監　事
㈱太陽油化
代表取締役 石田太平
東京都板橋区三園2－12－2
電話03－3938－0022

正会員
㈱アクアホーム
代表取締役 安保貴史
東京都武蔵野市吉祥寺本町1－10－7
電話0422－27－6279

監　事
㈱東京スタンドサービス
代表取締役 有吉嘉一郎
東京都三鷹市新川2－14－25
電話0422－46－2494

正会員
㈱朝田商会
代表取締役 真田一伸
東京都千代田区丸の内3－4－1
電話03－3213－9451

正会員
㈲アーク
代表取締役 志賀教夫
東京都足立区西竹の塚1－12－14 IKOビル3F
電話03－5647－6693

正会員
㈱アサヒ開発
代表取締役 内藤利永子
神奈川県横浜市瀬谷区二ツ橋町381－1
電話045－369－7751

正会員
アースサポート㈱
代表取締役 尾﨑俊也
東京都港区赤坂4－4－14 未来環境創造ビル3F
電話03－6441－2900

正会員
㈱旭商会
代表取締役 根本敏子
神奈川県相模原市緑区下九沢2096－1
電話042－771－3558

正会員
㈱アーバンサービス
代表取締役社長 松本亮治
神奈川県横浜市中区新山下3－7－24
電話045－628－7888

正会員
アトラス商事㈱
代表取締役 上田喜昭
東京都目黒区祐天寺2－11－10
電話03－3710－6390

暑中お見舞申し上げます

2016年 盛夏

正会員
㈲アベマキ
代表取締役 阿部真樹
東京都足立区東和2－24－17
電話 03－5697－6642

正会員
㈱ウチダ
代表取締役会長 内田一二三
埼玉県ふじみ野市駒林18
電話 049－263－9777

正会員
有明興業㈱
代表取締役 松岡和人
東京都江東区若洲2－8－25
電話 03－3522－1911

正会員
浦野産業㈱
代表取締役 浦野知昭
東京都あきる野市草花720－8
電話 042－558－9563

正会員
㈱アンカーネットワークサービス
代表取締役 碇隆司
東京都葛飾区新宿3－9－15
電話 03－3600－5873

正会員
栄和清運㈱
代表取締役 花形匡晃
東京都杉並区堀ノ内2－11－32
電話 03－3317－2281

正会員
㈱ＩＳＨＩＤＡ
代表取締役 石田洋平
埼玉県川口市八幡木3－16－7
電話 048－284－3864

正会員
栄和リサイクル㈱
代表取締役 金城虎一
東京都新宿区西早稲田2－9－16
東急ドエルアルス早稲田2F
電話 03－5273－4446

正会員
㈱市川環境エンジニアリング
代表取締役社長 石井邦夫
東京都中央区新川2－9－9 SHビル4F
電話 03－5540－4220

正会員
エコシステムジャパン㈱
代表取締役 石川統一
東京都千代田区外神田4－14－1
電話 03－6847－7010

正会員
㈱一不二総業
代表取締役 齋藤和行
東京都千代田区九段南4－2－9
シルキーハイツ九段南701
電話 03－5226－5057

正会員
㈱エコ・ファクトリー
代表取締役 有田一成
東京都稲城市大丸1434－3
電話 042－379－0013

暑中お見舞申し上げます

2016年 盛夏

正会員
㈱エコワスプラント
代表取締役 浅尾洋和
東京都西多摩郡日の出町平井34－1
電話 042－588－0072

正会員
㈱大空リサイクルセンター
代表取締役 宇留野利彦
東京都武蔵村山市伊奈平5－43－6
電話 042－560－5717

正会員
㈱エバーグリーンライン
代表取締役 比嘉良弘
神奈川県川崎市川崎区貝塚1－1－5
電話 044－221－6570

正会員
太田商事㈱
代表取締役 太田敦子
東京都府中市四谷5－13－14
電話 042－368－3800

正会員
恵比寿産業㈱
代表取締役 梁川哲
東京都八王子市東中野480－2
電話 042－676－6000

正会員
㈱オネスト
代表取締役 山本正直
東京都江東区新木場4－3－26
電話 03－3522－5300

正会員
㈱遠藤商会
代表取締役 遠藤孝一
埼玉県川越市大字下赤坂627－7
電話 042－344－5957

正会員
㈱小野組
代表取締役 小野仁
東京都江戸川区東小松川3－26－7
電話 03－3654－7367

正会員
オーエム通商㈱
代表取締役 岡村睦夫
東京都八王子市小津町106－1
電話 042－651－2717

正会員
鹿島環境エンジニアリング㈱
代表取締役社長 雨森司瑞利
東京都港区元赤坂1－5－31 新井ビル6F
電話 03－3746－7681

正会員
大久保興業㈱
代表取締役 大久保憲
東京都府中市天神町3－11－1
電話 042－334－3451

正会員
㈱加藤商事
代表取締役 加藤敬
東京都狛江市東野川2－14－2
電話 03－3480－5111

暑中お見舞申し上げます

2016年 盛夏

正会員
㈲金井商会
代表取締役 横山 茂
東京都町田市金井町2563
電話 042－735－5677

正会員
㈱環境システムサービス
代表取締役 加藤慎次郎
東京都八王子市横川町1076
電話 042－625－8120

正会員
㈱要興業
代表取締役 藤居秀三
東京都豊島区池袋2－14－8 池袋NSビル
電話 03－3986－5341

正会員
㈱環境テコム
代表取締役 高橋俊夫
東京都板橋区仲宿27－3
電話 03－5943－2020

正会員
㈱カネテツ
代表取締役 阿部正二
東京都足立区入谷9－5－10
電話 03－3899－1100

正会員
㈱共同土木
代表取締役 岡林靖幸
埼玉県上尾市原新町26－1
電話 048－771－7973

正会員
㈱川上商店
代表取締役社長 有田一成
東京都稲城市大丸1462－2
電話 042－379－0011

正会員
㈱キョクジュウ
代表取締役 引地剛之
埼玉県川口市戸塚3－26－20
電話 048－290－5510

正会員
㈱カワサキ商会
代表取締役 川﨑秀樹
千葉県市川市日之出21－1－643
電話 047－369－6126

正会員
㈱キンセイ
代表取締役 宇田川幸彦
東京都新宿区上落合3－23－12
電話 03－3361－5675

正会員
㈱環境技研
代表取締役 能登祥文
東京都板橋区板橋4－12－17
電話 03－3962－1771

正会員
㈱クマクラ
代表取締役社長 熊倉毅
埼玉県新座市畑中3－1－5
電話 048－479－0391

暑中お見舞申し上げます

2016年 盛夏

正会員
クリーンサービス㈱
代表取締役 佐藤高紀
東京都清瀬市旭が丘2－336－1
電話 042－491－9888

正会員
㈱敬隣舎
代表取締役 鈴木とも子
東京都板橋区小茂根4－2－1
電話 03－3958－0501

正会員
㈱クリエイト
代表取締役 吉田きく江
埼玉県久喜市間鎌314－1
電話 0480－52－7831

正会員
㈱小池建材
代表取締役 木村芳信
東京都八王子市大谷町481
電話 042－660－0515

正会員
㈱クレハ環境
代表取締役社長 名武克泰
福島県いわき市錦町四反田30番地
電話 0246－63－1231

正会員
㈱工運
代表取締役 高橋雄一
東京都大田区矢口1－25－16
電話 03－3759－7211

正会員
㈱グローブ産業
代表取締役 砂本一也
東京都足立区鹿浜7－12－4
電話 03－5838－0818

正会員
㈱光洲産業
代表取締役 光田栄吉
神奈川県川崎市高津区久地4－10－11
電話 044－822－0795

正会員
㈱ケイ・エム環境
代表取締役 宮田仁史
埼玉県三郷市前間140－2
電話 048－958－3938

正会員
甲陽興産㈱
代表取締役 北角治太
東京都千代田区内神田2－11－6
共同ビル（内神田） 7F
電話 03－6206－0533

正会員
㈱ケイミックス
代表取締役 橋本圭史
東京都中央区京橋2－5－7
日土地京橋ビル 7F
電話 03－3566－3706

正会員
㈱コーエイクリーン
代表取締役 瀧澤壽
埼玉県八潮市大字木曽根字上546－1
電話 048－994－1153

暑中お見舞申し上げます

2016年 盛夏

正会員
コスモ理研㈱
代表取締役 山中正昭
東京都台東区柳橋1－14－6
電話03－5820－1229

正会員
栄運輸㈱
代表取締役 鈴木尚紀
東京都葛飾区水元1－22－56
電話03－3609－2840

正会員
小林運輸㈱
代表取締役社長 木内一宏
埼玉県戸田市新曽南3－8－8
電話048－445－9811

正会員
栄鉄鋼商事㈱
代表取締役 江井弘
東京都足立区梅島2－18－5
電話03－3887－0750

正会員
㈱こばやし産業
代表取締役 小林大丈
埼玉県朝霞市上内間木317－5
電話048－456－1151

正会員
㈲榊原商店
代表取締役 榊原勝男
茨城県潮来市潮来7166
電話0299－63－1726

正会員
㈱駒形
代表取締役 黛亙
東京都中央区日本橋箱崎町3－12
電話03－3249－2711

正会員
㈱完山金属
代表取締役 完山一範
東京都八王子市館町468－2
電話042－661－4408

正会員
㈱小見山商事
代表取締役 小見山銀蔵
埼玉県狭山市広瀬台2－7－3
電話04－2953－8841

正会員
三英オフィスサービス㈱
代表取締役社長 神山快三
東京都千代田区神田錦町1－1－6
神田錦町ビル5F
電話03－3295－0404

正会員
㈲権田商事
代表取締役 権田秀之
東京都大田区羽田4－10－6
電話03－3743－4052

正会員
三東運輸㈱
代表取締役 田口勝久
東京都江戸川区篠崎町3－12－6
電話03－3670－3101

暑中お見舞申し上げます

2016年 盛夏

正会員
㈱ジーエムエス
代表取締役 瀧澤陵
東京都中央区日本橋人形町3－10－1
かしきち人形町ビル6F
電話03－5643－0640

正会員
㈱ジャパン・リサイクル・システム
代表取締役 砂川直輝
東京都多摩市連光寺1－22－1
電話042－337－0777

正会員
ＪＸ金属商㈱
代表取締役社長 松浦明一郎
東京都中央区日本橋3－2－5
電話03－3241－4481

正会員
㈱昌和プラント
代表取締役 廣木直江
本社 神奈川県横浜市中区万代町2－3－1
電話045－681－9027
厚木工場 神奈川県愛甲郡愛川町中津6957
電話046－285－8111

正会員
ＪＦＥ環境㈱
代表取締役 櫻井雅昭
神奈川県横浜市鶴見区弁天町3番地1
電話045－505－7949

正会員
白井運輸㈱
代表取締役 白井護
東京都足立区鹿浜3－28－7
電話03－3897－1331

正会員
志賀興業㈱
代表取締役 伊藤惣一
東京都三鷹市新川4－1－11
電話0422－47－1414

正会員
㈱新木場物流
代表取締役 井手口裕彦
東京都江東区新木場1－14－3
電話03－3522－1110

正会員
シグマテック 株式会社
代表取締役 深江伯史
東京都中央区日本橋富沢町5－4
電話03－5651－2201

正会員
㈱シンシア
代表取締役社長 松坂幸洋
東京都品川区南大井6－26－3
大森ベルポートD館6F
電話03－3764－5300

正会員
品川運輸㈱
代表取締役 毛塚久恵
東京都品川区東大井2－1－8
電話03－3761－0165

正会員
㈲新城重機
代表取締役 新城敬太
東京都武蔵村山市伊奈平1－59－1
電話042－520－7245

暑中お見舞申し上げます

2016年 盛夏

正会員
新和環境㈱
代表取締役 青木 浩
東京都新宿区西早稲田2－21－12
電話 03－3208－5047

正会員
総合商社 桂商店㈱
代表取締役 桂 義雄
千葉県千葉市若葉区大宮町1959－2
電話 043－292－5205

正会員
㈱スイーピングサービス
代表取締役 田邉昌志
東京都あきる野市瀬戸岡360－1
電話 042－597－6111

正会員
㈱第一建設
代表取締役 松本秀昭
東京都福生市大字熊川1438－10
電話 042－552－3021

正会員
㈲菅原商事
代表取締役 熊山香寿代
東京都江戸川区松江7－33－9
電話 03－3656－6260

正会員
㈱第一サービスソリューションズ
代表取締役 田之上俊朗
東京都港区西新橋1－6－13 柏屋ビル
電話 03－3504－8501
（中間処分場）埼玉県さいたま市岩槻区谷下156－1

正会員
㈲スリーシープランニング
代表取締役 山下智栄子
東京都品川区南品川3－6－31
電話 03－5769－0157

正会員
第一輸送㈱
代表取締役 篠原周治
東京都足立区加賀1－12－9
電話 03－3855－0188

正会員
㈱全公研
代表取締役 松田義隆
東京都江東区南砂1－6－11
電話 03－3649－8061

正会員
大興運輸倉庫㈱
代表取締役 片山饒
東京都港区芝浦1－13－10
電話 03－3868－0291

正会員
仙台環境開発㈱
代表取締役 櫻井慶
（東京営業所）
東京都千代田区永田町2－9－8－604
電話 03－3580－1711

正会員
第三東海㈱
代表取締役 宇田川稔高
東京都千代田区神田神保町1－2
電話 03－3292－0135

暑中お見舞申し上げます

2016年 盛夏

正会員
大生運輸㈱
代表取締役 大屋稔
東京都東久留米市中央町1－1－6
電話 042－471－6111

正会員
㈱調布清掃
代表取締役 梶原良介
東京都調布市深大寺東町5－8－1
電話 042－485－1166

正会員
㈱大東運輸
代表取締役 小林剛顕
東京都江東区新木場2－14－1
電話 03－3521－7311

正会員
千代田鉱砕㈱
代表取締役 伊藤公一
千葉県柏市風早2－3－6
電話 04－7192－2150

正会員
㈲髙興
代表取締役 石川市郎
東京都八王子市高月町515
電話 042－691－1919

正会員
㈱司工業
代表取締役 波田哲雄
東京都荒川区南千住6－49－7
電話 03－3802－1476

正会員
㈱貴藤
代表取締役 池ノ谷新吾
東京都昭島市拝島町3－7－20
リバーサイド山崎201号
電話 042－545－6027

正会員
都築鋼産㈱
代表取締役社長 都築基
東京都足立区新田1－10－19
電話 03－3914－8511

正会員
㈱タカヤマ
代表取締役 斉藤吉信
埼玉県所沢市南永井37－9
電話 04－2993－1213

正会員
㈱ティーエムハンズ
代表取締役 矢野晃治
東京都国立市泉4－7－8
電話 042－577－1789

正会員
㈱タケエイ
代表取締役社長 山口仁司
東京都港区芝公園2－4－1 A－10F
電話 03－6361－6830

正会員
ティー・ビー・ロジスティックス㈱
代表取締役 津田一正
埼玉県八潮市大字浮塚100番地
電話 048－994－1311

暑中お見舞申し上げます

2016年 盛夏

正会員
㈱東海運輸
代表取締役社長 宇田川雅弘
東京都品川区北品川5－8－30
電話03－3447－1321

正会員
東京トリムテック㈱
代表取締役 最上修
東京都品川区西五反田1－25－1
電話03－3492－3430

正会員
東京医療クリーン事業協同組合
代表理事 鍋谷明美
東京都豊島区西池袋2－29－19
電話03－3590－8000

正会員
㈲東京斫り
代表取締役 上杉大樹
東京都江戸川区松江4－17－3－307
電話03－3652－5042

正会員
東京エコリサイクル㈱
代表取締役 川上信彦
東京都江東区若洲2－8－21
電話03－3522－6690

正会員
東京パワーテクノロジー㈱
代表取締役社長 原英雄
東京都江東区豊洲5－5－13
電話03－6372－7000

正会員
㈱東京クリアセンター
代表取締役社長 熊木浩
東京都千代田区永田町2－4－3
永田町ビル9F
電話03－5157－1881

正会員
東京レンダリング協同組合
代表理事 徳田昌彦
東京都墨田区東墨田1－9－1
電話03－3619－5516

正会員
東京産資源㈱
代表取締役 村上清一郎
東京都江東区東砂5－14－17
電話03－3645－6131

正会員
東都運業㈱
代表取締役 酒井大作
東京都葛飾区奥戸3－23－28
電話03－3696－4611

正会員
公益財団法人 東京都環境公社
理事長 影山竹夫
東京都墨田区江東橋4－26－5
東京トラフィック錦糸町ビル8F
電話03－3644－2189

正会員
㈱東武クリエイティブ
代表取締役社長 垣入淳樹
東京都足立区西伊興2－2－27
電話03－3899－2251

暑中お見舞申し上げます

2016年 盛夏

正会員
㈱トーホークリーン
代表取締役 前川佑子
東京都渋谷区東4－9－18－204
電話03－5466－8923

正会員
㈱ナンセイ
代表取締役 稲福誠
東京都江戸川区中葛西5－20－7
電話03－3877－5026

正会員
㈱トキワ薬品化工
代表取締役 伊丹重貴
神奈川県横浜市旭区上川井町376
電話045－921－3264

正会員
㈱西商店
代表取締役 西義雄
東京都大田区池上6－28－5
電話03－3754－2441

正会員
㈱トベ商事
代表取締役 戸部昇
東京都北区王子5－10－1
電話03－5902－3202

正会員
西東京医師協同組合
理事長 山之内照雄
東京都立川市柴崎町3－16－11
電話042－524－6411

正会員
㈱トリデ
代表取締役社長 佐藤英生
本社 東京都府中市西原町4－17－15
事務所 東京都国立市谷保3116－1
電話042－576－9750

正会員
日栄産業㈱
代表取締役社長 吉本花子
東京都大田区京浜島3－5－2
電話03－3790－7400

正会員
中野運輸㈱
代表取締役 松原軍次
東京都中野区丸山1－2－1
電話03－3387－4356

正会員
日興サービス㈱
代表取締役 山口徹
埼玉県戸田市笹目北町14－19
電話048－421－9431

正会員
㈱中 村
代表取締役 戸村勝秀
東京都杉並区上高井戸3－2－23
電話03－3302－5156

正会員
日進エコシステム㈱
代表取締役 髙野和行
東京都港区三田3－14－13 メゾン富士ビル4B
電話03－5476－6390

暑中お見舞申し上げます

2016年 盛夏

正会員
日盛運輸㈱
代表取締役社長 細井幸一
東京都江戸川区篠崎町3－1－11
電話 03－3678－1100

正会員
㈱日本協力
代表取締役会長 渡辺省吾
代表取締役社長 川上和章
東京都江東区潮見1－6－2
電話 03－3640－4777

正会員
㈱日成ストマック・トーキョー
代表取締役 畠山秋夫
東京都江戸川区東葛西3－17－15
電話 03－5676－0555

正会員
日本サニテイション㈱
代表取締役 多田茂
東京都江東区新木場4－1－30
電話 03－5534－3521

正会員
日晴ビジネス㈱
代表取締役 小松原栄一
東京都文京区本郷5－24－3
電話 03－5800－2626

正会員
㈱日本資材
代表取締役 木藤裕幸
東京都大田区北馬込2－43－5
電話 03－5718－0800

正会員
日東消毒㈱
代表取締役 弓座輝明
千葉県木更津市八幡台2－2－1
電話 0438－37－3595

正会員
日本スタンド鉱油㈱
代表取締役 長瀬英次
東京都葛飾区柴又6－3－6
電話 03－3650－9767

正会員
日本衛生㈱
専務取締役 澤谷勇一
東京都足立区入谷9－30－10
電話 03－3853－6061

正会員
日本設備保全㈱
代表取締役 前田隆幸
東京都稲城市坂浜102－5
電話 042－313－8300

正会員
日本環境㈱
東京都港区浜松町2－1－16
浜松町北田ビル

正会員
日本トリート㈱
代表取締役 臼井淳一郎
東京都世田谷区上馬3－7－8
電話 03－3424－2020

暑中お見舞申し上げます

2016年 盛夏

正会員
日本メディカル・ウェイスト・マネジメント㈱
代表取締役 金原暁治
東京都港区芝5－29－19 旭ビル
電話 03－3798－4703

正会員
㈲ビー・アイ・エル
代表取締役 武藤廣見
東京都北区東田端2－8－7
電話 03－3893－7480

正会員
野村興産㈱
代表取締役社長 藤原悌
東京都中央区日本橋堀留町2－1－3
ヤマトインターナショナル日本橋ビル
電話 03－5695－2530

正会員
㈱東日本環境アクセス
代表取締役社長 赤石良治
東京都台東区東上野3－4－12
電話 03－3836－1551

正会員
バイオエナジー㈱
代表取締役 瀬川順也
東京都中央区新川2－9－9
電話 03－5540－4225

正会員
日野金属産業㈱
代表取締役 糟谷敏美
東京都八王子市旭町11－5
電話 042－682－2101

正会員
㈲八栄興業
代表取締役 鵜家きよ
東京都西東京市芝久保町5－4－9
電話 042－465－5525

正会員
㈱日向興発
代表取締役 前田弘貴
東京都杉並区方南2－25－24
電話 03－5377－2333

正会員
㈱ハチオウ
代表取締役 森裕子
東京都墨田区本所4－29－2
電話 03－3837－8080

正会員
㈱福井商店
代表取締役 赤羽敏宏
東京都千代田区内神田2－4－2
電話 03－3252－3896

正会員
㈱浜田
常務取締役東京支社長 丸木啓
本社 大阪府高槻市芥川町2－24－5
電話 072－686－3500
東京支社 東京都港区赤坂4−4−14 未来環境創造ビル2F
電話 03－6459－1352

正会員
㈱フジ・トレーディング
代表取締役 大羽敬子
東京都東大和市向原4－29－9
電話 042－565－7722

暑中お見舞申し上げます

2016年 盛夏

正会員
㈱藤原土建
代表取締役 藤原健次
東京都狛江市元和泉3－6－13
電話 03－3488－5159

正会員
㈱マスヒロ
代表取締役 桝満和洋
埼玉県三郷市早稲田1－14－18
電話 048－957－7749

正会員
㈲古川新興
代表取締役 古川幸司
東京都府中市是政3－65－1
電話 042－365－2231

正会員
松田産業㈱
代表取締役社長 松田芳明
東京都新宿区西新宿1－26－2
電話 03－5381－0001

正会員
㈱ペエックス
代表取締役 伊藤伸夫
東京都稲城市大丸1481－3
電話 042－378－2121

正会員
松村ダスト㈲
代表取締役 松村博文
東京都あきる野市三内230－18
電話 042－596－4959

正会員
ベル・テック㈱
代表取締役 鈴木照明
東京都江戸川区中央3－6－14 三家第一ビル1F
電話 03－5879－5050

正会員
丸一興業㈱
代表取締役 板橋博
東京都調布市富士見町1－18－30
電話 042－483－0150

正会員
㈱北陸産業
代表取締役 竹田輝幸
東京都品川区旗の台1－6－18
電話 03－5998－6684

正会員
丸順商事㈲
代表取締役 矢部要
東京都羽村市富士見平2－1－14
電話 042－554－2229

正会員
㈱まごころ清掃社
代表取締役 高野正道
東京都八王子市長房町126－2
電話（フリーダイヤル）
0120－538－056

正会員
㈲丸松産業
代表取締役 松崎一志
東京都板橋区徳丸6－20－6
電話 03－3550－9208

暑中お見舞申し上げます

2016年 盛夏

正会員
丸山商店
代表 丸山良治
東京都国立市谷保151－5
電話 042－573－3476

正会員
都清掃㈱
常務取締役 吉野猛彦
東京都足立区佐野1－28－10
電話 03－3606－0135

正会員
㈲丸和工業
代表取締役 田口和英
東京都足立区入谷3－5－8
電話 03－3853－6961（代表）

正会員
ムゲンシステム㈱
代表取締役 伊藤彰
東京都中央区日本橋箱崎町36－3
電話 03－5640－1422

正会員
マロン環境㈱
代表取締役 栗原義
東京都豊島区駒込1－35－2
電話 03－3942－6213

正会員
武蔵野土木工業㈱
代表取締役 渡邉久美
東京都八王子市宇津木町435番地1
電話 042－691－5199

正会員
萬世リサイクルシステムズ㈱
代表取締役 藤枝慎治
神奈川県横浜市金沢区鳥浜町17－3
電話 045－769－2526

正会員
㈱メイシン
代表取締役 亀田昇
東京都板橋区成増2－8－2
電話 03－3975－3941

正会員
光山商店
代表 福田郁夫
東京都三鷹市新川6－28－7
電話 0422－45－1569

正会員
㈱明和運輸
代表取締役 植田毅
東京都足立区宮城1－6－12
電話 03－3911－6126

正会員
㈱ミダック
代表取締役 矢板橋一志
静岡県浜松市東区有玉南町2163
電話 053－471－9361

正会員
山下産業㈱
代表取締役 山下栄雄
山梨県北杜市須玉町若神子5280
電話 0551－42－4848

暑中お見舞申し上げます

2016年 盛夏

正会員
㈲山下商事
代表取締役 山下政雄
東京都東久留米市八幡町2－11－53
電話 042－473－3761

正会員
㈱和光サービス
代表取締役 山田邦光
千葉県白井市河原子327番地
電話 047－491－5305

正会員
山大物産㈱
代表取締役 山下逸郎
埼玉県新座市菅沢2－14－29
電話 048－481－3845

正会員
和興テクノ㈱
代表取締役 村上洋一
東京都文京区関口1－24－8
電話 03－6265－3920

正会員
山田設備工業㈱
代表取締役 山田有司
東京都日野市大坂上2－2－7
電話 042－584－0879

賛助会員
市川燃料チップ㈱
代表取締役 彦坂武功
東京都江戸川区平井3－23－17
電話 03－3636－3280

正会員
㈱ヨシモリ
代表取締役 高橋安繁
東京都足立区関原1－12－2
電話 03－3848－2345

賛助会員
㈱エジソン
代表取締役 須永裕毅
茨城県つくば市東新井31－13
電話 029－863－7215

正会員
㈱ヨドセイ
代表取締役 青柳文夫
東京都豊島区東池袋2－38－20
電話 03－3985－8801

賛助会員
㈱環境管理センター 首都圏支社
執行役員 支社長 二瓶昭一
東京都千代田区内神田2－14－4 内神田ビルディング3F
電話 03－6206－4321

正会員
㈱リスト
代表取締役 遠藤重雄
東京都国立市谷保6300番地
電話 042－572－1300

賛助会員
クリーントーキョウ協同組合
理事長 碩孝光
東京都千代田区内神田1－9－13 柿沼ビル7F
電話 03－5283－7476

暑中お見舞申し上げます

2016年 盛夏

賛助会員
㈱ケー・イー・シー 東京営業所
所長 井関康
東京都北区赤羽2－16－1 高和赤羽ビル4F
電話 03－5939－6024

賛助会員
DOWAエコシステム㈱
取締役ウエステック事業部長 飛田実
東京都千代田区外神田4－14－1 秋葉原UDXビル22F
電話 03－6847－1231

賛助会員
行政書士 笹島総合事務所
代表行政書士 笹島潤也
東京都北区浮間3－16－15－101
電話 03－3969－1170

賛助会員
内藤環境管理㈱
代表取締役社長 内藤岳
埼玉県さいたま市南区大字太田窪2051－2
電話 048－887－2590

賛助会員
全国オイルリサイクル協同組合
理事長 長谷川徹
東京都中央区京橋2－6－6
電話 03－5250－5086

賛助会員
日本感材銀工業組合
理事長 水谷真伸
東京都品川区西五反田2－6－3 東洋ビル
電話 03－6821－0244

賛助会員
㈱テクノトレーディング
代表取締役社長 宮崎治男
東京都新宿区新宿1－34－3 第24スカイビル3F
電話 03－5368－0660

賛助会員
日本キャタピラー
執行役員 関東支社長 湯谷嘉浩
千葉県柏市十余二3－1－3
電話 04－7133－2111

賛助会員
一般社団法人 東京建物解体協会
会長 髙山眞幸
東京都中央区八丁堀3－10－1 章山堂ビル401
電話 03－3551－1075

賛助会員
㈱はとバスエージェンシー
代表取締役 黒瀬智弘
東京都大田区平和島5－4－1
電話 03－3298－5571

賛助会員
㈱東立テクノクラシー
東京支店支店長兼常務取締役 白柳朋也
東京都港区三田3－1－11 エック三田ビル8F
電話 03－6809－5670

賛助会員
日立建機日本㈱
東京支店長 井上秀和
埼玉県草加市弁天5－33－25
電話 048－935－7341

暑中お見舞申し上げます

2016年 盛夏

賛助会員

㈱御池鐵工所

代表取締役 小林由和

広島県福山市神辺町川南396－2
電話 084－963－5500

賛助会員

皆川美術印刷㈱

代表取締役 皆川暁

東京都荒川区東日暮里2－13－4
電話 03－3891－8141

賛助会員

㈱リライフ 東京営業所

所長 橋本ふくみ

東京都練馬区小竹町2－5－7－201
電話 03－5926－4030

一般社団法人

東京都産業廃棄物協会

名誉会長

児玉安彦
吉本昌且

相談役

近江昭
小池久米雄

一般社団法人

東京都産業廃棄物協会

会長	高橋俊美
専務理事	木村尊彦
事務局長	横手浩次
	中澤宏子
	佐伯初美
	松本さとみ
	木島繭子
	斎藤礼子
	長田徳子
相談員	阿部秀行
	服部昭
	高橋辰男

広報委員会

委員長	乙顔均
副委員長	森雅裕
	吉本花子
	吉野猛彦
	青木繁雄
	大崎秀也
	長谷川宣詔
	佐野藤治
	清野文子

～ ゼロエミッションに挑戦する ～

比留間運送㈱ 資源循環型リサイクル企業

★建設廃材（ALC）のリサイクルと活用方法★

JR東京駅 八重洲口

東京ドームシティー 庭園

歌舞伎座 屋上庭園

ALC廃材・解体材

★ 埼玉県 入間工場
【産廃・一廃（現在申請中）処分業】
【埼玉県入間市中神764-16】

ｶﾞﾗ陶破砕	360.0t/日
動残発酵	17.5t/日
動残混練発酵	5.8t/日

特 徴
①比重が50%軽い
②雑草が生え難い
③栄養価が高い
③全て廃棄物より製造
※年間平均 1,350kg-CO2削減

①軽量発泡ｺﾝｸﾘｰﾄ 1cm塊に破砕

＋

②伐採樹木のﾁｯﾌﾟ化

＋

③動植物性残さの発酵処理

製品 人工軽量土壌

～許可品目と処理能力～
★ 東京都 伊奈平工場
【一廃・産廃処分業】
【東京都武蔵村山市伊奈平3-25-5】

廃ﾌﾟﾗ破砕	130.3t/日
廃ﾌﾟﾗ溶融	2.4t/日
廃ﾌﾟﾗ圧縮梱包	204.3t/日
紙くず破砕	52.8t/日
紙くず圧縮梱包	166.58t/日
紙くず焼却	4.8t/日
木くず破砕	328.9t/日
木くず焼却	4.8t/日
繊維くず破砕	41.8t/日
繊維くず圧縮・梱包	17.8t/日
動残発酵	3.5t/日
動残焼却	4.8t/日
金属くず破砕	81.6t/日
金属くず圧縮	4.3t/日
ｶﾞﾗ陶破砕	482.8t/日
がれき類破砕	480.0t/日

高精度選別機 計3基

全国産業廃棄物連合会青年部主催
CO2マイナスプロジェクト全国大会
優良取組部門 特別賞 受賞

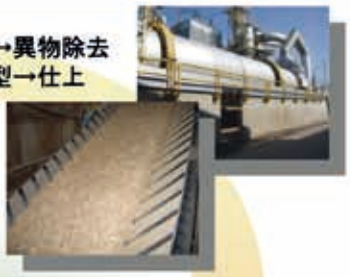
～お問い合わせ先～
ごみやさん ゴー
0120-5383-50
URL：http://www.eco-hiruma.co.jp/

廃木材よ…再びよみがえれ！！

廃木材には「マテリアルリサイクル」により与えられる使命がまだあります。

廃木材

破砕→異物除去
→成型→仕上



不要となった
E・V・Aボードは
再び原材料として使用

東京ボードグループ
マテリアルリサイクル
システム

置き床・家具等
に使用

パーティクルボード
「E・V・Aボード」

廃木材の利活用、このままでいいのでしょうか？

現在、廃木材の利活用について議論される際に、常に話題の中心になるのがバイオマス発電を中心とした「エネルギー利用」です。再利用することが出来ない廃棄物をエネルギーに還元することは非常に有効な活用法であると言えます。

しかし、「エネルギー利用」する前に、今一度考え直して下さい。

その廃木材は「マテリアルリサイクル」が出来るのではないでしょうか？
私達東京ボードグループは皆様とともに「マテリアルリサイクル」の手助けをさせていただきます。
そして共にCO_2削減を図り、地球環境をより良いものへと改善していきましょう！
木々に永遠の命を与えたい…。それが東京ボードグループの使命です！！

私達は
地球温暖化防止に
全力で取り組みます

東京ボード工業株式会社
本社　〒136-0082　東京都江東区新木場2-11-1　TEL:03-3522-4138　FAX:03-3522-4137
新木場工場　〒136-0082　東京都江東区新木場2-12-5　TEL:03-3522-1524　FAX:03-3522-1525
埼玉工場　〒340-0835　埼玉県八潮市浮塚100番地　TEL:048-996-4541　FAX:048-996-4562
横浜エコロジー株式会社
〒236-0003　神奈川県横浜市金沢区幸浦1-4-2　TEL:045-778-1153　FAX:045-778-1154
ティー・ビー・ロジスティックス株式会社
〒340-0835　埼玉県八潮市浮塚100番地　TEL:048-994-1311　FAX:048-994-1315
TB関西物流株式会社
〒630-8452　奈良県奈良市北之庄西町1-6-11　TEL:0742-50-6222　FAX:0742-50-6667